

年間休止していた。24年度に「おっぱら夢組合」と町内会から再開の要望があった。
 〈議第13号〉市有財産の無償譲渡
 清見町牧ヶ洞の旧きよみ自然館の有効活用を図るため譲渡
 譲渡先・株たくみ塾
 全員一致で可決。



清見町牧ヶ洞にある旧きよみ自然館

【問】譲渡先の会計上で受贈益が発生し法人税が最高で数千万円となることも考えられるが相手方と話はできてい

るのか。

【答】譲渡先・会計事務所・高山市で高山税務署を訪れ法人税について確認した。圧縮記帳は可能との回答を得ており、万一、圧縮記帳が認められない場合でも譲渡を受ける旨の意思が伝えられた。
 〈議第16号〉古川国府給食センター利用組合規約の変更
 給食供給保育園の減少に伴う負担割合の算定基準の変更
 全員一致で可決。

【問】都市計画区域や市街地は新たに公園がつくれないという状況なのか。
 【答】都市計画区域で9.3haの面積が不足。里山購入など緑地を一部都市公園化すること

【問】譲渡先・会計事務所・高山市で高山税務署を訪れ法人税について確認した。圧縮記帳は可能との回答を得ており、万一、圧縮記帳が認められない場合でも譲渡を受ける旨の意思が伝えられた。
 〈議第16号〉古川国府給食センター利用組合規約の変更
 給食供給保育園の減少に伴う負担割合の算定基準の変更
 全員一致で可決。

も含めて公園整備は進めたい。

【問】都市計画区域や市街地は新たに公園がつくれないという状況なのか。
 【答】都市計画区域で9.3haの面積が不足。里山購入など緑地を一部都市公園化すること

【問】譲渡先・会計事務所・高山市で高山税務署を訪れ法人税について確認した。圧縮記帳は可能との回答を得ており、万一、圧縮記帳が認められない場合でも譲渡を受ける旨の意思が伝えられた。
 〈議第16号〉古川国府給食センター利用組合規約の変更
 給食供給保育園の減少に伴う負担割合の算定基準の変更
 全員一致で可決。

【問】譲渡先・会計事務所・高山市で高山税務署を訪れ法人税について確認した。圧縮記帳は可能との回答を得ており、万一、圧縮記帳が認められない場合でも譲渡を受ける旨の意思が伝えられた。
 〈議第16号〉古川国府給食センター利用組合規約の変更
 給食供給保育園の減少に伴う負担割合の算定基準の変更
 全員一致で可決。

議員発議

昨年12月に駅周辺整備特別委員会に総合交流センター基本構想案が示され、議論を重ねるなかで、高山市のまちづくりの将来像を考え、「駅周辺に本当に必要なもののみを整備すべき」との結論に至り決議案を提出。議員全員の同意により、議会の意志として本会議で議決しました。

基盤的な機能を中心とした高山市総合交流センターの整備を求める決議

駅周辺部での施設等の整備は、駅の東西の暮らしや経済はもちろんのこと、市全体のまちづくりに大きな影響を与えることから、さまざまな機能を持たせるべきだとする意見もある。

しかしながら、低迷する経済、生産年齢人口の減少、そして、平成26年度での合併特例期間の終了など、高山市の財政運営の先行きは不透明さを増しており、こうした状況下で新たな施設整備等を行う際には、初期投資や維持管理費を最小限に抑える努力をしなければならないものと考えます。

よって、高山市議会は、高山市総合交流センターを、駅の東西をはじめ市全体のまちづくりの方向性を踏まえつつ、駅周辺部として必要な機能を吟味し整備するよう、以下のとおり、市に対し要望する。

記

1. 駅を中心とした東西のまちづくりコンセプトを明確に示し、高山市総合交流センターという名称ではなく、次に掲げる機能に基づく新たな名称を検討すること
2. 高山市総合交流センターの機能は、『高山市総合交流センター基本構想』中の基盤的な機能を中心とし、シンボリック機能及び交流機能については必要最小限にとどめること
3. 多額の維持管理費のかからない整備とし、将来にわたって財政的な負担を軽くすること

以上、決議する。

平成25年3月27日 高山市議会